

あそぶ・まなぶ・語る

周防大島町総合体育館陸上競技場 / 日本ハワイ移民資料館
八幡生涯学習のむら / 宮本常一記念館

第35号
2021年8月

予告

東和写真展

八幡生涯
学習のむら

景観の中のからしをテーマに周防大島町東和地区（旧東和町）の写真展を開催いたします。旧東和町は三面を海に囲まれ山口県でも有数の海岸線の長さを誇りました。入り組んだ小さな入り江と遠浅の海、海岸からほとんど直接山が立ち上がるとい

【写真＝真宮島（現在の道の駅付近）。真珠の養殖イカダが並ぶ】



う地形の中で、人々はどのような暮らしを切り拓いていったのでしょうか。

幹線道路が開通前の渚や、山頂まで拓かれた段々畑の風景など、昭和30～40年代の写真を中心に旧東和町のくらしをふりかえります。（古賀）

【期間】令和3年9月7日（火）～11月28日（日）を予定

【休館日】月曜（祝日の場合はその翌日）

【場所】八幡生涯学習のむら 学びの間

【問い合わせ】0820・72・2601

宮本常一記念館

宮本常一の資料で 地域を学ぶ



当館では、小学校や中学校、高校、大学への講師派遣や、学校の授業での来館を受け入れています。博物館と学校が一緒になって学びの機会を作っていく「博学連携事業」といわれ大事な教育活動です。

本年7月5日には安下庄小学校へ出前授業に赴き、また6月21日、7月12日には森野小学校のみなさんが来館されました。

安下庄小学校では、総合的な学習の時間を利用して、宮本常一撮影の写真や、地域の方が保管されていた同地区の昔の写真がスライドで映写し、何が変わったのか、何が変わらないのか、この地域の特色は何かを一緒に考えました。



さらに、オイコや天秤棒・ミズオケの使い方を体験しました。どんな材料で作れているのか、道具の形が利になっっているかなどを見極

【写真＝展示の解説を聞く森野小学校の児童】



した。中には自ら進んで民具をスケッチする児童もいて、モノをしつかり「見る」ということを学んでもらえたようでした。

森野小学校も授業の時間を活用して来館。まず、宮本常一が地域の暮らしに注いだまなざし、「あるく・みる・きく」という調査方法を学びました。そして児童たちは一本釣り船や、イワシの加工用具などの民具をじっくり観察し、スタッフの話を聞きながら海を舞台にした暮らしを学びました。また、宮本の撮影写真も見学して、昔の写真のどこに注目すれば、生活の移り変わりが探求できるのかをメモを取りながら聞いていました。

このように、当館では先人の技術や知恵を次の世代に伝えていくために、各学校と連携して学びの裾野を広げ、探求心を育む活動を推進しています。（高木）

人生を楽しむために、
いつまでも元気でいよう

周防大島町総合体育館



トレーニングルーム
利用者インタビュー

莊巖寺副住職で彫刻家でもある白鳥文明さん（73歳）にトレーニングジムの利用についてインタビューさせていただきました。

白鳥さんは3年前にジムの会員に登録されました。最初は体力をつける目的で2年ほど続けていたのですが、徐々に行かなくなってきたそうです。そうしたところ今年2月に病を患い手術をされました。

5月からトレーニングを再開。きっかけは病後に医師から下半身の筋力を付けた方がいいとアドバイスされたこと、そしてジムに通いをはじめた頃から一緒に続けていた仲間

（20代男性）の体形がどんどん変わっていくのを目の当たりしたことでした。「一緒にやってきた相手がえらい筋肉が発達してきてね。それでやっぱりすごくトレーニングが大事ってことがわかった。これは病氣してわかったんだけどね」と白鳥さん。

「高齢者は重い負荷をかけるよりは、軽い負荷で回数を増やしたほうが、優しい運動になって、しかもちゃんと筋肉が付くんですよ」とその成果を実感されています。最近は周りの方から「体型が変わった!」といわれるそうで、今後無理することなく、自分のペースで通えたらとのことでした。

長く続けるには、無理せず体調に合わせて行うことが何よりも大切です。これからお元気で過ごされるよう、健やかな心と身体づくりのお手伝いが出来ればと思います。

総合体育館では第4木曜日13時半〜15時に専門職員による無料トレーニングアダプスも開催しています。「器具の使い方がわからない」「どんなトレーニングをすればいいの?」などお悩みのある方はぜひご

利用ください。会員登録の再発行もその場で出来ます。紛失された方はお気軽にお申し付け下さい。（中村）

感想続々

『宮本常一
ふるさと選書』

古老の人生を聞く

宮本常一記念館では本年3月に『宮本常一ふるさと選書1 古老の人生を聞く』を刊行しました。周防大島から、日本各地、さらに海を渡ってアジアまでも旅した古老たちの話を宮本常一がまとめた「奇兵隊士の話」

「世間師」梶田富五郎などの4編の作品を収録しています。いずれも宮本常一著作集や文庫本に収録されていた文章で、宮本によって古老たちの「語り」が魅力的に綴られています。今回は幅広い層に読んでいただくと思い、新たに図版や解説を挿入して、難しい漢字にはふりがなを付しました。

古老の人生を聞く



印象だったが、昔話を読んでいたようでスラスラ入ってきた」といった感想をいただいています。本書は全国の書店、そして記念館でも購入が可能ですので、お問い合わせください。



なお、ふるさと選書シリーズでは宮本常一が周防大島について記した文章を再編集して随時刊行します。（高木）

▼『宮本常一ふるさと選書1 古老の人生を聞く』（みずのわ出版、税別1200円）

TEL 0820・78・2514

英語ナレーションが好評

日本ハワイ移民資料館

シアタールーム



日本ハワイ移民資料館は1999年2月に開館し、早23年が経過しました。現在総入館者数は7万人を超えており、コロナ禍を除けば、年々来館者は増加傾向にあります。特に、ハワイからの団体ツアーでの来館は春、秋の恒例行事となっています。10年前のツアーでは二世の方の参加もあり日本語を話す方もいらっしゃいました。が、ここ数年は日本語での会話はほとんど耳にしくなりました。そんな世界から注目される本館の施設や見所をご紹介します。第1回目の今回は、皆様にご好評をいただいておりますシアタールームを紹介します。

このシアタールームは、玄関から一番奥に位置しており、土蔵の一階部分を改装したものです。12畳の広さに、椅子15席を配置し、ゆったりと鑑賞することが出来ます。上映しているのは「海を渡った日本人」と題する映像で、周防大島から移民した人たちの歴史を中心に、なぜハワイへ行く必要があったのかの時代背景や、当時の過酷な労働や生活実態を紹介しています。さらに現地取材で2世3世の生の声を収録し、現在のハワイの日系人コミュニティの形成までをコンパクトに12分間でまとめた映像です。



They made fences around their camps with rocks they had collected along the river.



土蔵の独特の雰囲気とナレーション・BGMも相まって、いつの間にか画面に引き込まれ涙するお客さんも見受けられます。一度は見ていただきたい映像です。

開館当初は、日本語のみでの紹介をしておりましたが、来館者からの強い要望を受けて、ハワイからのツアー客が増えつつあった2015年には英語の字幕版と英語版の3通りを作成しました。英語版のナレーションは、ALTとしてハワイ・オアフ島から赴任中であつたローレン・フジタニさん（日系4世）が快く担当してくださいました。日本語のナレーションは小松在住の中元みどりさんが担当しており、まさに地域の人が一緒になって作り上げた作品です。本館にお越しの際にはぜひ視聴してみてください。（木元）

古文書整理



八幡生涯学習のむら

八幡生涯学習のむらでは久賀地区に伝来していた古文書を収蔵・保管しています。これらの古文書は町の歴史を伝える大切な史料であり、後世に伝えていくべき文化財です。そこで保存と活用のためには、まずミズのような崩し字で記さ



【写真＝整理前の古文書】



【写真＝目録をとって封筒に収納】

れた古文書を解読してタイトルを付け、また寄贈された家や古文書の来歴などそれぞれの関係性がわかるように目録（リスト）を作成することが必要です。これは地道で時間のかかる作業ですが、資料館にとって最も大切な仕事です。

学習のむらの古文書は目録がとられている群と、まだ目録ができていない群が混在していました。そこで3年前から、まず寄贈された所蔵家ごとに分類し目録化ずみのものと未目録のものを確認しました。現在は随時一点ごとに番号をつけて封筒に収めるといった作業を進めています。これをパソコンに入力してどこにどんな資料があるかを管理できるようにします。町の歴史を未来に伝えるための欠かせない仕事です。（古賀）

暮らしの
モノ語り六万点の民具から：
手廻し洗濯器

「カモメホーム洗濯器K105人
工衛星型」、昭和32（1957）年
に群馬県高崎市の林製作所から発売
された。約30万台を売り上げ、その
うち7〜8万台が輸出された。周防
大島町でも数点所蔵している。

昭和35年、小学校教員の初任給が
9100円（4月現在）の時代に電
気洗濯機は一台2万5千円前後と高
価だった。周防大島でも昭和35年の
旧東和町の町民一人当たりの所得は
5万円（『東和広報』第83号）と電
気洗濯機は高値の花だった。家庭に
コンセントの数も少なく、電気代も
負担だった。この手廻し洗濯器は
4300円と格段に安く節電にもな
る。直径約33センチで部屋の隅や棚
にも置くこともできた。球形の本体
は同32年ソ連が打ち上げた史上初の
人工衛星スプートニクを連想させる
モダンさだ。

使い方は簡単で40度以上の湯を本
体の5分の1〜3分の1、適量の洗
剤と乾いたままの洗濯物を入れ蓋を

閉める。ハンドルで所定時間左右に
4〜5回ずつ交互に廻すと、内部の
空気の温度が上昇し膨張圧力が増
大、洗剤の泡立ちが促進され繊維内
に強く浸透する。蓋を開けると内部
圧力が瞬間的に低下し不完全真空状
態になり、分解した汚れを外に引き
離すというものだ。説明書には、洗
濯時間10〜20秒（電洗の15分の1）、



【写真＝底面には、湯温・攪拌時間とともに
日米英独の特許番号が刻印されている。】

布地をもまないで永持ちする（手
洗いの5倍）、値段が安く故障しな
い（電洗の5分の1）、石けんの量
が少なく経済的、染色も可能で毛類
編物・化繊も洗濯できるなど10点も
の特徴があげられている。

高圧化と回転による膨張圧力を応
用した洗濯法は水や湯の中で洗濯物
を動かす攪拌式とは一線を画し、日

本ほかアメリカ・イギリス・ドイツ
でも特許を取得した。海外ではキャ
ンプでも重宝されたという。

木製の道具が多かった昭和30年
代。ピカピカ光る金属の球形は節約
や利便性と一緒新しい時代のワク
ワク感も家庭に運んできたのではな
いだろうか。（古賀）

一枚の古写真



「はあ、すごいのお…よう植えとつ
たねえ。」

講演会でこのミカン畑の写真が映
写されると、会場からため息のよう
に声が漏れた。聴衆は島の人たち、
父祖が作ったミカンの木々が茂る景
観に目を細めていた。

周防大島がミカンの産地として地
位を築いていったのは、昭和の戦後
期。それまで島の現金収入の主流
だった養蚕業が衰退し、蚕のエサと
なる桑畑からミカン畑への転用がは
じまる。1960年代には水田もミ
カン畑に切り替えていった。江戸時
代の税金はコメで納めたように、農
家にとってコメは特別な作物だっ



【写真＝久賀の棚田に植えられたミカン。昭和41年。
撮影：宮本常一】

た。ミカンが収益性の高い作物とい
え、代々にわたって拓いた水田を
果樹園にすることに、農家の心理的
な抵抗は小さくなかった。そんな思
いを乗り越えての産地化であった。
上空から久賀の棚田に植えたミカ
ンを撮影した民俗学者の宮本常一
は、「ミカンが植えられると、また
違った美しさが生まれてくる。それ
は絨毯か何ぞのような感触をおぼえ
るものである。…自然的風景はまた、
つくることのできるものである」と、
その感想を書き残している。宮本も
また島の地の暮らしを守る人の営為に
頭の下がる思いで、シャッターを
きったのだろう。（高木）